

令和2年度

定 時 総 会

事業報告

～ 想いを型にするところ ～

NPO法人 湘 南 ス タ イ ル



令和2年7月14日（火） 18：30～

茅ヶ崎市勤労市民会館

定 時 総 会 次 第

1. 開会挨拶

1. 理事長挨拶

1. 第 1 号議案 令和 1 年度 事業報告

1. 第 2 号議案 令和 1 年度 決算報告・監査報告

1. 第 3 号議案 令和 2 年度 事業計画（案）

1. 第 4 号議案 令和 2 年度 収支予算（案）

その他

1. 閉会の辞

<総括報告>

本年も無事、事業を推進できたことメンバーの皆さんに感謝いたします。

「想いをかたちにするところ湘南スタイル」をスローガンにし、早いもので設立から 15 年経過しました。

振り返ってみると 2005 年、自主事業で成り立たせる NPO 運営を目指し、

- 湘南地域の情報発信ポータルサイト「湘南スタイル」の運営・広告募集事業
- 湘南地域の産業発展を目指した「湘南ブランド」の創出
- 湘南「海の駅・山の駅」建設提案

の事業を掲げ、産業・市民・公共機関の 3 分野をつなぎ、地域の活性化を目指してスタートし現在に至っています。

設立からの 3 年間は、志はあれど活動資金は乏しく、組織運営上大変厳しい時代でした。NPO を自主事業で成り立たせることは難しく、岐路に立っていた 2009 年、組織運営と地域課題解決の糸口と出会ったのは、神奈川県のパランタリー活動基金 21 に「湘南みかん木パートナーシップ」プログラムでエントリーし、4 年間の協働事業を受託したと同時に、茅ヶ崎市の市民提案型協働事業「食と農のポータルサイト・おいしい茅ヶ崎」の事業受託でした。

2 つの行政との事業受託したことで、事務局職員の人件費を計上することができ、NPO として組織運営上、自立の目途が立ったことが大きなきっかけとなりました。

2 つの協働事業をきっかけに「食と農」をテーマに社会課題解決のための視点でメンバーが知恵を出し合った結果

1. 茅ヶ崎市産米使用災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発
2. 農水省 6 次産業化支援事業の神奈川県内の農水産業者 42 社に対し、4 名のランナーを派遣し、6 次産業化の礎を築く事業の実施。

引きつづき、農水省「農ある暮らしづくり交付金」の受託により「ふれあい田んぼ塾」「ふれあい畑塾」の事業を実施、持続可能な仕組みを築いてきました。

3. 続いて、茅ヶ崎市との 6 課連携による「茅ヶ崎 100 年 P J」として、現「道の駅」予定地一帯の柳島向河原地区アクションプランとしての土地利用基本計画を茅ヶ崎市より業務委託を受け冊子を制作し、茅ヶ崎市へ提示しました。
4. その後、茅ヶ崎市の市民提案型協働事業を通じ、「FuboLabo」「文化生涯ポータルサイト」「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」など、茅ヶ崎の情報発信に協力し、団体としての Web 発信力を築くことができました。

湘南地域の情報ポータルサイトを築くため、設立当初湘南地域の有力企業に 2 年間かけて 80 社ほど営業活動に回った苦労を思い出します。そのような中で慶応大学 SFC との産学連携で「人参焼酎さん」の開発・「浜降祭ライブ中継」や環境保全の視点から「ベロタクシー」の運行など厳しい経営環境の中で、NPO として、どのような運営・資金計画をしていくべきかを学習した時期でした。

以降、コミュニティビジネスを通じての事業は、どの事業も在庫リスク「0」の仕組み

形成で、受注や参加を確定してから運営を開始することを基盤に進め危険リスクを回避しています。是非事業者の方は、参考にして下さい。

2009 年、神奈川ビジネスオーディションにエントリーし、県知事奨励賞・経営士会賞・コミュニティビジネス賞の 3 賞を受賞し注目を浴びるNPOとなった。神奈川県中小企業センターより、経済産業省が新規開設するNPO出資事業の強い勧めがあり、10 年間の出資助成（劣後ローン）を受けることとなった。

昨年度、実施事業の他、アグリビジネスコンサル事業などで予算を上回る収益を上げることができ、同出資金以外の借入金を返済することができました。

また、今年度は前理事長の藁品様より 500 万の寄付金を頂き借入れを全額返済する事ができました事をご報告し藁品様へ団体を代表して心より感謝申し上げます。

昨年度より理事長を務めさせて頂いておりますが任期の 2 年が終わるのに合わせ退任を希望し理事会承認を頂きました。今年度中に次期理事長を選任したいと思っております。正会員の皆様より立候補して頂き次年度以降も楽しく・希望に満ちた団体活動できるようにご協力お願いします。

選任方法等につきましては決まり次第、ご報告したいと思います。

<第1号議案>

NPO 法人湘南スタイル 令和1年度事業報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

1. 日程 開催会議

理事会

第1回	4月26日	
第2回	6月5日	
第3回	8月27日	
第4回	10月15日	
第5回	12月3日	
第6回	12月19日	臨時理事会
第7回	3月12日	臨時理事会
定時総会	6月11日	

※令和1年度、理事会は隔月開催。

理事会の使命として、財務内容の健全化を目指し会議を行った。

法人の組織運営・事業内容及び世代交代を図るため、プロジェクトリーダー会議と合同で開催し進捗状況を把握した。

定例会

第1回	4月9日	
第2回	5月14日	
第3回	7月9日	
第4回	9月10日	
第5回	10月8日	
第6回	11月12日	12月の定例会議は、忘年会（12月18日）
第7回	1月14日	
第8回	2月11日	

理事会 偶数月火曜日

定例会議 毎月第2火曜日

2. 実施事業報告

① 湘南スタイルみかんの木パートナーシッププログラム	11 年目
② ふれあい畑塾	7 年目
③ アグリビジネスコンサルティング事業	7 年目
④ 農産加工品販売「湘南工房」	7 年目
⑤ MaruhakuTV 運用業務委託	4 年目
⑥ 神奈川県基金 21 協働事業「湘南 100 プロジェクト」	2 年目
⑦ 湘南スタイル HP の運営	15 年目

以上 7 の PJ も無事終了することができました。

本年度にて茅ヶ崎市の行政提案型協働事業から委託事業になった「茅ヶ崎まるごと発見博物館」事業がもう一年継続され、神奈川県基金 21 協働事業に採択された「湘南ワンハンドレッドプロジェクト」の 2 年目が終了し、あと 1 年間継続する。また、一昨年度終了した「落書き防止アートペイント」事業から全国の小学校の図工の教科書に「河童徳利」の物語と浜之郷小学校の子供たちと描いた絵が採用され全国の子供たちの教科書に掲載されている。

3. 財務状況

農産加工品販売「湘南工房」において、最大の取引先である海老名サービスエリアのリニューアル工事にともない、商品供給がストップしていた影響で売上が約半分に減少した。その他の事業については、予算を上回るか微減での着地となった。

4. 理事会

理事会はプロジェクトリーダー会議と合同で実施した。

特定非営利活動に係る事業

<事業内容>

1. 湘南スタイル「みかんの木パートナーシップ」事業

<内容>大磯・二宮地区のみかんの木パートナーシップ組合から運営委託を受けサポートを行った。

組合参加農家数は4軒（二挺木・井上・北原・脇）

収穫祭は3農家で11月16日（二挺木）11月23日（北原）11月30日（井上）の予定だったが23日は雨予報のため中止として30日に北原農園・井上農園の同時開催とした。

みかんパートナーシップ応募口数は60口。

東海大教養学部、東大みかん愛好会、初参加の東京農大ボランティア部との産学連携並びに神奈川県職員NPO研修者及び湘南スタイルメンバー

（株）U-sen社とのコラボにより、農業廃棄物の摘果みかんが「青摘みみかん」として約1t飲食店への供給をすることができた。

・PJメンバー	リーダー：市川（信）	藁品・久保田・中村・渡部	
・対象者	みかん農家・一般消費者・企業		
・決算額	企画・パンフ・イベント・みかん代金・加工品		224万円

2. ふれあい畑塾

<内容>畑塾は鈴木塾長との連携により、東・西・南3か所計38区画で展開。今までは年2回の募集のみだったが、今年度からは随時募集に切り替え新規塾生の獲得強化に努めた。

南区画の地権者である山宮さんの庭で開催する初夏のバーベキュー・秋の大収穫祭はいずれも50名ほどの人数で開催し、利用者の交流を図るとともに会員の交流も促進された。農水省から受託した「農と触れあいたい都市住民に向けた多様な取り組み」が、自主運営を始めて丸6年、順調に推移している。

3月契約更新分については、仮受金として次年度会計に繰り入れ処理をした。

・PJメンバー	リーダー：渡部	指導者：鈴木	広報支援：市川（靖）	
・対象者	農家・市民・企業			
・決算額	企画・パンフ・イベント費			12万円

3.地場商材開発販売「湘南工房」

＜内容＞茅ヶ崎市産米使用の災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業とみかんパートナーシッププログラムから発展した湘南みかんの加工品及びトマトジュース等、地産地消を推進する農産加工品開発販売事業。

災害備蓄食糧「おかゆ」：茅ヶ崎市・社会福祉法人・リピーター含め 5,000 食販売。
茅ヶ崎市のおかゆ購入は、昨年度から入札となり今年度も入札に参加し 3,000 食落札。
以前は購入履歴がある方に DM を発送したが、今回は時間的コスト・発送費用の観点から DM 発送は行わなかった。

農産加工品：最大の取引先である、海老名サービスエリアのリニューアル工事に伴い商品供給がストップしている影響を受け、売上が約半減と大きく減少。新規の取引先開拓に努める。

・PJメンバー	リーダー：渡部	メンバー：藁品・久保田	
・対象者	農家・市民・企業・進和学園		
・決算額	農産物仕入・資材・運賃・営業費		232 万円

4.アグリビジネスコンサルティング事業

＜内容＞6次産業化により、設置された進和学園しんわルネッサンス農産加工場販路開拓などについて助言、及び支援などコンサルタントとしての業務を推進した。

イトーヨーカ堂小田原店「ハッピーライフフェア」(8月24日・25日)などに出店した。

なお、当事業は今年度で終了となった。

・PJメンバー	リーダー：久保田	渡部	
・対象者	進和学園・県内JA・農家・全農神奈川・飲食業者・ホテル・観光業者		
・決算額	人件費・企画費		62 万円

5. MaruhakuTV 運用業務委託

＜内容＞協働事業からスタートし、運用してきた MaruhakuTV の継続運用とサイトの保守管理

- ① サイトのPR 動画の撮影・編集、記事の作成、Facebook の運用など
- ② アクセス解析・報告及びデータバックアップ等の対応

・PJメンバー	リーダー：市川（靖）・（株）ボンド（法人会員）	
・対象者	茅ヶ崎市民（特に実講座を受講できないユーザー）	
・決算額	企画・運営・Web 掲載	
		25 万円

6. 湘南ワンハンドレッドプロジェクト

〈内容〉かながわボランティア活動推進基金 21・協働事業負担金の事業を受託。3 年間事業として神奈川県県民部基金事業課を通じ、総合政策課及び湘南地域県政総合センター企画調整課との連によりスタート。

3つのプロジェクト（まちのキャリアラボ：リーダー中村(容)、湘南 100CLUB：リーダー山口 企業人向け越プログラム：リーダー清水）から構成され、各プロジェクトリーダーのもと事業を展開している。

一般参加者も増え、2 つの HP（・湘南ワンハンドレッド PJ・TAKURAM）を立ち上げ、広報活動を実践している。

・PJ メンバー	総括責任者　： 渡部 リーダー　　： 清水 サブリーダー： 中村・山口 メンバー　　： 四條・市川(靖)	
・対 象 者	地域住民・企業	
・決 算 額	企画・運営・イベント費・消耗品	802 万円

7. NPO 法人 湘南スタイルのホームページ

〈内容〉各事業の進行状況や募集状況により、HP のプロジェクトページ、トピックスページを更新してきた。また facebook や instagram などの SNS も積極的に更新をしている。

・PJ メンバー	リーダー：市川（靖） メンバー：市川（歩）・渡部	
・対 象 者	県内 SNS ユーザー・市民・農家・飲食業者・ホテル・観光業者等	
・決 算 額	Web 構築・追加・変更	60 万円

3. 組織

(1) 会員

正会員 15名 会員 17名 賛助会員 1名 アドバイザー 1名

理事長 市川(信) 理事 中村・海老名・渡部

監事 山本

正会員 15名

順不同 敬称略

藁品孝久（ビル賃貸業）	中村雅和（社会保険労務士）	海老名健太郎（会社員）
市川信治（機械設計）	山本高大（NPO 代表）	久保田邦邇 （市民活動家）
市川靖洋（デザイン業）	清水謙 （コンサル）	西村誠 （建設業）
市川歩 （デザイン業）	中村容 （大学職員）	山口順平 （会社員）
渡部健 （コンサル）	竹村治巨（自転車卸売業）	杉村一憲 （市民活動家）

会員 17名

順不同 敬称略

安部比呂 （会社員）	井出朋子（野菜ソムリエ）	嶋田英雄 （農業関連）
永田てるじ（県会議員）	坂田美保子（NPO 代表）	鈴木稔彦 （農家）
吉川宗孝 （行政）	菊池奈々（食アドバイザー）	石田秀樹 （会社員）
高橋行一 （造園業）	山宮立珠（ピアノ教師）	宮治勇輔 （養豚家）
菊池小夏 （会社員）	米山守 （市民活動家）	四條邦夫 （NPO 代表）
高橋新 （コンサル）	一杉繁 （市民活動家）	

賛助会員 1名

神戸幸男

法人会員 2社

(株)ボンド (株)茅ヶ崎技研

アドバイザー 1名

吉田誠

名誉顧問 2名

竹村治巨 杉村一憲

<第2号議案> 令和1年度 活動計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

科 目	予算	決算額		備 考
I 収入の部				
1 会費・入会金収入	200,000	198,000	198,000	年額 12000円×12名/ 3000円×18名
2 法人会費	90,000	60,000	60,000	2社
3 法人事業収入	90,000	0	0	制作物
4 講演料収入	100,000	0	0	講演2～3回
5 湘南スタイル交流会・イベント費	30,000	20,000	20,000	総会懇親会
6 寄付金		5,000,000	5,000,000	薬品孝久
7 湘南みかんパートナーシップ事業	2,200,000	2,392,208	2,392,208	みかんパートナー60口・みかん
8 ふれあい畑塾	1,000,000	1,153,833	1,153,833	畑塾 27,000円×19区画、24,269円×11区画
9 地場商材開発販売「湘南工房」	6,000,000	2,877,501	2,877,501	おかゆ・みかん・トマト・原材料等
10 アグリビジネスコンサル事業	1,000,000	1,423,940	1,423,940	進和学園
11 MaruhakuTV運用支援事業	300,000	303,708	303,708	茅ヶ崎市委託事業
12 湘南ワンハンドレッドPJ	8,280,000	8,019,041	8,019,041	神奈川県ボランティア活動基金21受諾事業
13 新規事業	2,000,000		0	新規事業
14 湘南スタイルHP運用費	600,000	0	0	
当期収入計(A)	21,890,000	21,448,231	21,448,231	
その他収益事業会計より繰り入れ	50,000		0	
当期収入合計 (A)	21,940,000	21,448,231	21,448,231	
II 支出の部				
1 事業費			総事業費	
①講演・イベント支出	50,000		50,000	会費・イベント等
②湘南みかんパートナーシップ事業	1,800,000	2,244,217	4,044,217	みかん・パートナーシップみかん代金
③ふれあい畑塾	300,000	124,362	424,362	自主事業 直接費
④地場商材開発販売「湘南工房」	4,700,000	2,318,072	7,018,072	おかゆ・みかん・トマト・原材料等
⑤アグリビジネスコンサル事業	800,000	618,159	1,418,159	進和学園
⑥MaruhakuTV運用支援事業	250,000	250,470	500,470	動画撮影:業務委託含む
⑦湘南ワンハンドレッドPJ	6,700,000	8,019,041	14,719,041	神奈川県ボランティア活動基金21受諾事業
⑧新規事業	1,600,000		1,600,000	新規事業
⑨湘南スタイルHP運用費	300,000			50,000円/月×12ヵ月
当期事業支出(B)	16,500,000	13,574,321	30,074,321	
2 管理費				
①給料手当	1,400,000	1,850,000		団体運営費(人件費・その他)
②事業人件費	800,000			諸事業人件費
③運賃	120,000	95,158		みかん・おかゆ等、ヤマト運輸他
④会議費	120,000	68,683		勤労市民会館、チガラボ・プロジェクト会議
⑤旅費交通費	120,000	34,239		レンタカー・交通費等
⑥通信費	120,000	151,908		電話・郵便・新聞
⑦消耗品費	120,000	54,380		事務関連
⑧水道光熱費	60,000	55,819		5000円/月×12ヶ月
⑨諸会費	80,000	15,000		諸会費・寄付交際費
⑩支払手数料	20,000	51,803		振込料、代引手数料
⑪賃借料	700,000	555,040		事務所借料・イベント会場費
⑫保険料	100,000	47,221		NPO団体保険料
⑬租税公課	480,000	577,800		消費税・法人税・県民税・収入印紙
⑭雑費	20,000			記事掲載新聞購入
⑮顧問料	280,000	284,844		税理士(決算処理)・社会保険労務士
⑯印刷費	120,000	185,934		コピー・パンフレット
⑰Webコンテンツ制作費	300,000	261,600		全事業Web関係
⑱イベント費	20,000	89,534		イベント費
事業管理費計(C)	4,980,000	4,378,963		
当期事業支出 (D)(B)+C)	21,480,000	17,953,284		
事業費振替額 (E)		1,680,606		
当期収益 (F) (A)-(D)+(E)	-4,980,000	5,175,553		
その他事業会計より繰入	50,000			
営業外損益 (F)	100,000	251,033		受取利息・支払利息・雑損失
借入金返済支出	-5,030,000			
経常利益 (G)=(E)-(F))	360,000	4,924,520		

<第2号議案> 令和1年度 活 動 計 算 書
 (その他事業に係る事業会計)
 令和1年4月1日から令和2年3月31日まで

科 目	予算	決算	備 考
I 収入の部			
1 事業収入			
① Web広告事業収入	0	0	
② その他広告事業収入	0	0	
投機収入合計(A)	0	0	
II 支出の部			
1 事業費			
① ポータルサイト広告募集事業			事業計画書(その他の事業)のとおり
Webサーバー設置費	0	0	サーバー構築費
通信費	0	0	インターネット回線
② その他の広告募集事業	0	0	
2 管理費			
消耗品費	0	0	
通信費	0	0	
研修費	0	0	
会議費	0	0	
当期支出合計(B)	0	0	
当期収支差額(A)－(B)	0	0	特定非営利活動事業会計へ繰入

貸 借 対 照 表

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和2年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流動資産計 】	【 1,316,228 】	【 流動負債 】	【 1,314,746 】
現 金	20,361	買掛金	447,146
普通預金	1,144,908	未払金	48,468
商品	83,884	預り金	60,223
未収入金	61,707		758,909
仮払金	5,368		
【 固定資産 】	【 0 】	【 固定負債 】	【 0 】
		負債の部合計	1,314,746
		純資産の部	
		【 株主資本計 】	【 1,482 】
		当期純損益金	4,924,520
		【 利益剰余金計 】	【 1,482 】
		繰越利益剰余金	-4,278,518
		純資産合計	1,482
資産の部合計	1,316,228	負債・純資産の部合計	1,316,228

貸 借 対 照 表

(その他事業に係る事業会計)

令和2年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流動資産計 】	【 0 】	【 流動負債 】	【 0 】
【 固定資産 】	【 0 】	【 固定負債 】	【 0 】
敷 金		長期借入金	
		負債の部合計	0
		純資産の部	
		【 株主資本計 】	【 】
		【 資本金 】	【 】
		【 利益剰余金計 】	【 0 】
		繰越利益剰余金	0
		純資産合計	0
資産の部合計	0	負債・純資産の部合計	0

令和1年度財産目録

令和2年3月31日 現在

(特定非営利活動に係る事業会計)

	科目	摘要	金額
資 産	現金	手許現金在高	20,361
	普通預金	湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部	868,041
		湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部	275,159
		さがみ農協 茅ヶ崎支店	986
		湘南農協 八重咲支所	722
	商 品	期末在庫 みかん加工品	57,964
		期末在庫 おかゆ	25,920
	未収入金	ディアパーク 他 3件	61,707
負 債	仮払金	ヤマト運輸	5,368
	買掛金	太平食品加工(株) 他 2件	447,146
	未払金	大澤千鶴	48,468
	預り金	源泉所得税	60,223
	仮受金	県民活動 他 1件	758,909

令和1年度財産目録

令和2年3月31日 現在

(特定非営利活動に係る事業会計)

	科目	摘要	金額
資 産			
			0
負 債			
			0

上記のとおりご報告申し上げます。

令和2年6月28日

特定非営利活動法人 湘南スタイル

理事長 市 川 信 治 

理 事 海 老 名 健 太 郎 

理 事 中 村 雅 和 

理 事 渡 部 健 

監査の結果、いずれも適法かつ妥当であることを認めます。

監 事 山 本 高 大 

〈第2号議案〉

令和2年度監査報告

令和2年度、湘南スタイル監査報告

令和2年6月28日午後5時、ワラシナビル5階の当法人事務所において、会計原簿
並びに預貯金の調査を実施し、報告書の取り間違いのないことを確認いたしました。
ここに報告いたします。

令和2年6月28日

茅ヶ崎市本村 1 丁目 9 番 1-408 号
レールシティ湘南茅ヶ崎
監事 山本 高大



<設立からの経緯>

実施時期	活動実績	活動の目的
西暦 2005 年 6 月 ～2006 年 3 月	1. 湘南地域ポータル Web サイト構築準備 (http://www.shonan-style.jp) 2. メンバー拡大（設立時正会員 14 名） 3. 自主運営事業創出活動模索 4. 国・県・茅ヶ崎市等公的機関連携模索 5. 産学連携先模索	●地域貢献・社会貢献や人間関係の形成を基盤とする「持続可能な社会づくり」の実現に向け、地域の活性化活動と自己実現を共生させる研鑽の場として 2005 年 6 月、まちづくり NPO 法人設立。 ・地域のためになるかどうか ・人のためになるかどうか を行動の第一選択事項として活動しています。
西暦 2006 年 4 月 ～2007 年 3 月	1. 湘南地域ポータル Web サイト 5 月 1 日立上げ 2. メンバー拡大（協賛会員拡大 8 名） 3. 湘南ブランド創出事業・人參湘酎さん開発発売 4. 神奈川県コミュニティビジネスオーディション入選 5. 神奈川県創業実現モデル事業支援対象事業者認定	●地域の活性化は、地域内で活動する、市民・NPO、産業者（商業・工業・漁業・農業）、公共機関の 3 分野をつなぐ中間支援組織の役割が重要である。さらに、単一の市域の枠を超えて、隣接するエリアをつなぐ広域連携が重要と考え、ポータルサイトの充実と神奈川県との連携強化を視野に入れた事業を行った。
西暦 2007 年 4 月 ～2008 年 3 月	1. 湘南地域ポータル Web サイトの充実 2. 慶應大学 S F C との連携による地域コミュニティ創出検証事業・浜降祭インターネットライブ中継の実施 3. ペロタクシー運行事業（環境エネルギー問題啓発事業） 4. メンバー拡大（正会員 14 名・賛助会員 21 名）	●当該年度の目標は、「産・官・学・民」の枠組みを築くため、慶應大学・文教大学、日本大学等、エリア内の大学との連携を行い、湘南地域の活性化をテーマに進める各校の教授・准教授との親交を深めた。市民や観光客の環境・エネルギー問題に関する意識高揚と省エネ型の交通手段の実証実験を目的として、公的機関の協力を得て、人が多く集まる夏季に人カタクシーを運行した。
西暦 2008 年 4 月 ～2009 年 3 月	1. 湘南地域ポータル Web サイトの充実 2. 茅ヶ崎市市民提案型協働推進事業「おいしい茅ヶ崎」受託 (http://oishi-chigasaki.com/) 3. 茅ヶ崎市産米使用・災害備蓄食糧「おかゆ」開発発売 2009 年 2 月 14,000 食完売（茅ヶ崎市 8,000 食納入） 4. メンバー拡大（正会員 14 名・賛助会員 28 名）	●「まちづくり NPO 法人」としての 3 年間の事業活動から、地域活性化の啓発・推進には、市民・産業・行政の 3 分野の全てにかかわりの深い「食と農」が最も効果的であると考え、地産地消の推進・安心安全な食・フードマイレージなど地域課題解決に向けた事業を実施した。その結果、茅ヶ崎市や農業者・産業者の協力が増え、Web アクセスからメンバー拡大につながった。
西暦	1. 湘南地域ポータルサイトの充実	●2009 年度は、メディア取材が

2009年4月 ～2010年3月	2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかん（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 東海大学教養学部連携・湘南ブランド創出PJ開始 ○経済産業省・まちづくり活動支援融資（政策金融公庫出資金、劣後ローン第一号）	増え、湘南地域の活性化を担うNPOとしての認知度も高まった。2010年度実施する「ふれあい田んぼ塾」は、茅ヶ崎市の学童保育に通う学童が80名参加し、収穫後に、災害備蓄食糧「おかゆ」に生まれ変わる稲作栽培を実施する予定となっている。また東海大学の教養学部との連携により、地域の活性化と実践的な教育の場の創出を目的として、学年横断型全体授業として、当該事業「湘南まるごと交流空間」を実施する。
西暦 2010年4月 ～2011年3月	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用（HP/ Facebook /Twitter）運営・管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 東海大学教養学部連携・湘南ブランド創出PJ開始 7. 「農(みのり)の駅」創出PJ 8. 茅ヶ崎市農業振興アドバイザー協定	●設立6年度目として、総事業費が、ようやく1000万円を超えるところまで、到達。しかし、依然として、不足資金が当該年度50万円、累計で850万円。湘南スタイル「みかんの木・パートナーシップ」プログラムが、コミュニティビジネスの範として、評価され、神奈川県協働事業として決定。同時に、日本財団の助成事業としても決定。かながわビジネスオーディションにおいて、奨励賞・CB賞・日本経営士会賞を受賞。地産地消推進団体として、農林水産省より表彰。
西暦 2011年4月 ～2012年3月	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用（HP/ Facebook /Twitter）運営・管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 農水省6次産業化委託事業 7. 神奈川県緊急雇用創出委託事業 8. 茅ヶ崎市農業振興アドバイザー協定	●神奈川県との協働事業を開始したことで、初めての職員を採用でき、組織運営が潤滑になった。また、期中に農水省並びに神奈川県からの事業委託を受託。総収入が前年度実績の3倍、累積の欠損を穴埋めすることができ、大きく飛躍した年度となった。 茅ヶ崎市との連携も進み、「農の駅」創出のための官民連携として、ちがさき百年プロジェクト（協働推進）が関連8課と連携して勉強会がスタート。
西暦	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用	●設立時

2012年4月 ～2013年3月	(HP/ Facebook /Twitter) 運営管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ (加工品/みかん狩り/観光ツアー) 発売 6. 茅ヶ崎市協働事業：お父さん・お母さんのための子育て情報サイト 「FuboLabo ちがさき」開設 7. 茅ヶ崎市「柳島向河原地区アクションプラン作成業務」委託事業	・湘南独自のポータルサイト運営 ・異業種混合地域統一ブランドの開発、プロデュース ・湘南「海の駅・山の駅」設置提案 以上3点の実現に向け、事業をスタートさせてきたが、当該年度、茅ヶ崎市との8課連携により、柳島地区のアクションプランを作成、設立時の目標に近づいたと実感する年度となった。
西暦 2013年4月 ～2014年3月	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」 2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 茅ヶ崎市協働事業「文化生涯ポータルサイト」 4. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 5. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 6. ふれあい田んぼ塾 7. ふれあい畑塾 8. 6次産業化推進事業「農産品加工工場建設」促進事業	●設立8年目にして、消費税の課税NPO事業者となり、税務の面においても社会貢献するNPOとなったことは感慨深い。これまで実践してきた、コミュニティビジネスに関する講演依頼が、県内から4か所あった。 ●農水省6次産業化事業で、連携先である、平塚の社会福祉法人「進和学園」に農産加工場設置が決定し、平成26年度運用が開始される。就労支援・農業支援を通じ、県内初の試みを進めるため、販路開拓・広報支援を依頼され、コンサルタント事業を開始する。
西暦 2014年4月 ～2015年3月	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」 2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 5. ふれあい田んぼ塾の運営 6. ふれあい畑塾の運営 7. 6次産業コンサルティング事業 8. 「湘南工房ブランド」開発事業	市民・産業者・行政をつなぎ、地域活性化か活動を推進するため、「食と農」を通じた公的機関との連携を目的に助成金の公募にエントリーし、受託され関係を築いてきた。しかしながら、 ●神奈川県協働事業（4年間）の最終。 ●農水省農ある暮らしづくり交付金（ 上記、2事業を持続可能な仕組みへの移2年間）の最終年度。行わせることが、助成金を活用する本来の意義であるが、受託金額が大きいほどその難しさを感じており、規模を縮小して継続事業とする。
西暦	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」	「みんなで創る湘南スタイル」の

2015年4月 ～2016年 3月	2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 5. ふれあい田んぼ塾の運営 6. ふれあい畑塾の運営 7. 6次産業コンサルティング事業 8. 「湘南工房ブランド」開発事業 9. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業にエントリー、2件の協働事業の採択が決定。	スローガンのもと、新たな10年に向かってスタートした。 国・県・市の助成事業が終了し、団体として自主運営していくことができるかどうかを問われる年度となった。 同時に、メンバーの新旧交代に時期に入っており、組織運営について、一年の理事会を通じて、定款の目的・会員区分の変更などを含め、活動メンバーや新規参加メンバーに対し、解りやすいパンフレットや組織体制図を作成 東大みかん愛好会・JTBと連携して、みかん観光列車を小田原迄運行した。
西暦 2016年4月 ～2017年 3月	1. 湘南スタイルホームページ運営事業 2. 「おいしい茅ヶ崎」茅ヶ崎市経済部委託事業 3. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 5. ふれあい畑塾の運営 6. 6次産業コンサルティング事業 7. 「湘南工房ブランド」開発事業 8. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」 9. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業「落書き防止・抑制のためのペイント事業」 10. JT 財団 NOP 助成事業 11. その他の事業	茅ヶ崎市行政提案型協働事業にエントリーし、茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業並びに落書き防止のためのアートペイント事業をそれぞれ2年間に渡り実施している。2事業とも友好他団体との連携で事業を進めている。 また、JT 財団 NPO 助成事業に「ふれあい畑塾」関連で、事業を受託した。 事業受託により、畑塾メンバーの活動費が生まれ、実験農地として、炭素循環農法などを研究している。 別途、(財)食品産業センター及び(財)中央果実協会からの声がかかり、左記10・11の事業を実施した。単年度事業であり、かつ団体活動に直接関連する事業でなかったにもかかわらず、負担が大きかった。

西暦 2017年4月 ～2018年3月	1. 湘南スタイルホームページ運営事業 2. 「おいしい茅ヶ崎」茅ヶ崎市経済部委託事業 3. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. ふれあい畑塾の運営 5. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 6. アグリビジネスコンサルティング事業 7. 「湘南工房ブランド」開発販売事業 8. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市協働事業 9. 「落書き防止・抑制のためのペイント事業」：茅ヶ崎協働事業 10. JT 助成担い手育成事業 11. エディブルパーク茅ヶ崎運営事業 12. その他の事業	NPO活動は、企業も同様であるが、組織運営維持のための収入をどう確保する仕組みを創るにかかっている。ただ、NPOは、企業と違い社会貢献活動を事業構造の中心に据え、CB／SBの手法を使い、自己の持つ社会課題を解決する仕組みをメンバーの英知や行動で実現する楽しみがある。 社会課題は、行政も多くを抱えており、その解決策を補助金・助成金や委託事業として募集している。それらをよく見極め活用していくことも重要なファクターであり、本年度も茅ヶ崎市から3事業とJTの4事業が。さらには、みかん、畑、農産加工、6次産業化など多くの事業が関係している。
------------------------------------	--	--

西暦 2018年4月 ～2019年3月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 農産加工品・おかゆ普及啓発販売事業 4. アグリビジネスコンサルティング事業 5. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市委託事業 6. JT 助成担い手育成事業 7. エディブルパーク茅ヶ崎運営事業 8. 神奈川県ボランティア活動基金21 協働事業「湘南ワンハンドレッドPJ」 9. 湘南スタイルホームページ運営事業	新年号「令和」に代わる2019年度は、設立以来、理事長を務めてきた藁品から新理事長市川信治（茅ヶ崎技研㈱代表取締役）氏に引き継ぐ。 開設時から5年間に積み重ねていた負債を軽減するために経費の削減と新規事業及び業務委託を受け、湘南工房製品の販路開拓及び新商品開発を実施したことで、収入を増加させ、次年度の負担を軽減することができた。 神奈川県からNPO研修を毎年受入れしているが、その中で、新たな連携が始まり、二宮町も含め農産加工品の商品開発・販路拡大が開始された。また、新たに神奈川県とスタートしたボランティア活動基金21の協働事業のお蔭で、メンバーも増え団体の運営に明るい兆しが見えてきている。 昨年度から実施してきた、エディブルパーク茅ヶ崎は、事業主体者へ業務を移管した。
------------------------------------	---	--

西暦 2019年4月 ～2020年3月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 農産加工品・おかゆ普及啓発販売事業 4. アグリビジネスコンサルティング事業 5. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市委託事業 6. 神奈川県ボランティア活動基金 21 協働事業「湘南ワンハンドレッドPJ」 7. 湘南スタイルホームページ運営事業	市川新理事長の元、新しい湘南スタイル のあり方をメンバーと考え実践した。 湘南スタイルとして行うべき事業への選択と集中。日常業務の効率化、会議体の見直しを図った。 当初は茅ヶ崎市への移住に関する事業を開始予定だったが行政との調整がつかず移住に関する新規事業を開始することができなかった。 湘南ワンハンドレッドプロジェクトは2年目が終わり、協働事業最終年度を見据え自走できる仕組みづくりをテーマに各リーダーが中心となり進め、2年目の取り組みは県からも高い評価をもらうことができた。
------------------------------------	---	--

<第3号議案>

令和2年事業計画

<基本方針>

今年度は東京オリンピックの開催で日本国内、湘南地域においても盛大に開催され湘南地域の経済成長を多くの方が期待した希望のある年になると思っていました。

3月30日には東京オリンピックの開催を2021年夏に延期されることが決まると同時に新型コロナ感染拡大 4月7日には緊急事態宣言が発令され、様々な経済活動の自粛が始まり、当団体もイベント・定例会等を自粛しながらもオンラインを活用と言う新しい形の活動も経験することができました、また定時総会も6月開催を断念し本日に延期することとなりました。

新型コロナの感染第2波、3波の恐れ、関東周辺での相次ぐ地震の発生など予想の出来ない年となりそうです。今年度は変化に柔軟で慎重な対応が求められる大切な年となります、ゆっくり走っても目標に達しないわけではない日々続けることが大切なのではないでしょうか、今年は『ゆっくり行く』ゆっくりとは何も考えないとかスピードを落とすこととは違い、やみくもに動くのではなく、将来を予見し問題を乗り越えるための効率的な取り組みを目指し地域社会に貢献して行きたいと思います。

<会議>

総会	6月第2火曜日	(正会員・会員)
理事会	偶数月第1火曜日 18:00～	(理事)
定例会	毎月第2火曜日 18:30～	(正会員・会員)
PJリーダー会議	偶数月	(理事及びPJリーダー)
PJ会議	随時	(リーダー・メンバー)

<PJリーダー会議>

各PJの情報共有と進捗状況連絡。メンバーへの情報発信。
他PJへの協力・提案・進言

<PJ会議>

メンバー同士の情報共有と進捗状況の確認。課題の抽出。

実施事業

特定非営利活動に係る事業

① 湘南スタイル「みかんの木パートナーシップ」事業

〈内容〉引き続きみかんの木パートナーシップ組合の自主運営を促進する為に支援を行います。脇さんからの組合脱退の連絡を受け、組合参加農家数は3軒（二挺木・井上・北原）。

新型コロナウイルスの第2波の状況も鑑みながらの開催となるが、二宮町や大磯町ともみかん狩り後の観光等での協力体制を模索する。

東大みかん愛好会・東京農大ボランティア部・東海大学教養学部との産学連携も引き続き進めていく。

前年度は開催日ギリギリでの掲載となったが、今年は7月から「じゃらん」に掲載をして新規顧客の獲得をはかる。

パートナー募集は前年度並みを予定。

今年度は11/21（二挺木）11/28（北原）12/5（井上）に開催予定。

・PJメンバー	リーダー：市川（信）
・対象者	みかん農家・JA 湘南・地元ボランティア・神奈川県 農業技術センター・加工業者・観光会社・CSR推進企業 一般消費者・学生
・予算額	広報・パンフ・会議費・材料費・人件費等 230万円

② ふれあい畑塾事業

〈内容〉農と触れ合いたい市民・企業と農家を結ぶ地域コミュニティ創出事業。

地域振興プログラムとして持続可能な仕組みとして自主運営。マイファームやシェア畑など競合となるサービスが参入してきている中、今年度は塾生向けのプログラムとして東屋づくりや、畑でのイベントを行い塾生間のコミュニティをさらに強化する。また塾生向けだけではなく、農作業や収穫を体験できるプランも拡充し茅ヶ崎らしい「農ある暮らし」や「子供向けの食育」を提案していく。

・PJメンバー	リーダー：渡部 鈴木塾長
・対象者	畑ユーザー・湘南スタイルメンバー
・予算額	入園料・講師料・イベント費・情報発信 100万円

③ 地場商材開発販売「湘南工房」・農産加工品・おかゆ

＜内容＞競合する地場商品が増えていく中、地産地消・農家支援・規格外農産物の活用・障害者の就労支援が出来る商品として、取り扱い企業の CSR に繋がる営業を展開し、新規の売り先の拡大を図る。

・PJ メンバー	リーダー：渡部	メンバー：藁品・久保田
・対 象 者	デパート・ホテル・飲食店・ゴルフ場・小売店等	
・予 算 額	原料仕入・配送料・梱包資材・人件費等	250万円

④ MaruhakuTV(<https://www.maruhaku.tv>)保守管理及び運用サポート事業

＜内容＞協働事業及び委託事業として茅ヶ崎市社会教育課と協働運用を継続している Maruhaku TV の保守管理及び、市職員によるサイト運用のサポートを行う。

・PJ メンバー	リーダー：市川(靖)・市川(歩)	
・対 象 者	茅ヶ崎市内外のユーザー	
・予 算 額		17万円

⑤ 湘南ワンハンドレッド・プロジェクト

＜内容＞H30 年度 神奈川県ボランティア基金 21 協働負担金事業の最終年度。

まちのキャリアラボ(リーダー：中村)、湘南 100CLUB(リーダー：山口)、企業人のための越境プログラム(リーダー：清水)の3つのプログラムともに新規メンバーも加わり、人生 100 歳時代にむけたそれぞれの取り組みが大きく進んでいる。今年度は来年度以降の自走できる仕組みづくりに向け積極的に活動をしていく。

・PJ メンバー	リーダー：清水 山口・中村・四条	
・対 象 者	神奈川県内の個人・企業・各種団体	
・予 算 額	講師料・イベント費・情報発信・会場費	650万円

⑥ おうちがレストラン(ちがさきグルメ EC サイト)

＜内容＞政府から提言された「新しい生活様式」受け、感染症対策を行いながらの営業活動を行っている飲食店や、外出自粛で通販に押され売上が減少している食物販店に向け、店舗に頼らない新しい販売チャネルを提供する。茅ヶ崎市内の飲食店の中でもセントラルキッチンで製造した、品質が担保されている商品を集めた EC サイトをつくり店舗外での販売を支援する一方、売上の一部はフードロス対策を行っている団体に寄付をする。

・PJ メンバー	リーダー：渡部・市川(靖)	
・対 象 者	市内飲食店・食物販店・一般消費者	
・予 算 額	仕入れ代金・サンプル費・情報発信	100万円

<第4号議案> 令和2年度 収支計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

科 目	予算	法人繰入収入	備 考
I 収入の部			
1 会費・入会金収入	156,000	156,000	年額 12000円×13名/ 3000円×16名
2 法人会費	60,000	60,000	2社
3 法人事業収入	0	0	制作物
4 講演料収入	60,000	60,000	講演2～3回
5 湘南スタイル交流会・イベント費	0	0	
6 湘南みかんパートナーシップ事業	2,300,000	200,000	みかんパートナー60口・加工用みかん販売
7 ふれあい畑塾	1,000,000	900,000	38区画
8 地場商材開発販売「湘南工房」	2,500,000	400,000	おかゆ・みかん・トマト・原材料等
9 MaruhakuTV運用支援事業	170,000	30,000	茅ヶ崎市委託事業
10 湘南ワンハンドレッドPJ	6,500,000	1,800,000	神奈川県ボランティア活動基金21受諾事業
11 おうちがレストラン	1,000,000	50,000	新規事業
当期収入計(A)	13,746,000	3,656,000	
その他収益事業会計より繰り入れ	0	0	
当期収入合計 (A)	13,746,000	3,656,000	
II 支出の部			
1 事業費	総事業費		
①講演・イベント支出	0		会費・イベント等
②湘南みかんパートナーシップ事業	2,100,000		みかん・パートナーシップみかん代金
③ふれあい畑塾	100,000		イベント費等
④地場商材開発販売「湘南工房」	2,100,000		おかゆ・みかん・トマト・原材料等
⑤MaruhakuTV運用支援事業	140,000		動画撮影:業務委託含む
⑥湘南ワンハンドレッドPRJ	4,700,000		神奈川県ボランティア活動基金21受諾事業
⑦おうちがレストラン	950,000		実施なし
当期事業支出(B)	10,090,000		
2 管理費			
① 給料手当	1,850,000		団体運営費(人件費・その他)
② 事業人件費	0		アルバイトスタッフ等
③ 運賃	60,000		みかん・おかゆ等、ヤマト運輸他
④ 会議費	50,000		勤労市民会館、チガラボ・プロジェクト会議
⑤ 旅費交通費	30,000		レンタカー・交通費等
⑥ 通信費	100,000		電話・郵便・新聞
⑦ 消耗品費	50,000		事務関連
⑧ 水道光熱費	0		
⑨ 諸会費	30,000		諸会費・寄付交際費
⑩ 支払手数料	50,000		振込料、代引手数料
⑪ 賃借料	20,000		事務所借料・イベント会場費
⑫ 保険料	45,000		NPO団体保険料
⑬ 租税公課	400,000		消費税・法人税・県民税・収入印紙
⑭ 雑費	20,000		記事掲載新聞購入
⑮ 顧問料	290,000		税理士(決算処理)・社会保険労務士
⑯ 印刷費	150,000		コピー・パンフレット
⑰ Webコンテンツ制作費	400,000		全事業Web関係
⑱ イベント費	30,000		イベント費
事業管理費計(C)	3,575,000		
当期事業支出 (D) (B)+(C)	13,665,000		
当期収益 (E) (A)-(D)	81,000		
その他事業会計より繰入	0		
営業外損益 (F)	0		受取利息・支払利息・雑損失
借入金返済支出	0		
経常利益 (G)=(E)-(F))	81,000		
次期繰越金	0		